

氏名 田 中 秀 昌

学位(専攻分野) 博 士(医 学)

学位授与番号 博 乙 第 2620 号

学位授与の日付 平成 5 年 6 月 30 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第4条第2項該当)

学位論文題目 上丘と小脳虫部第Ⅸ小葉に投射するラット三叉神経脊髓路核および主知覚核ニューロン

論文審査委員 教授 佐々木順造 教授 村上 宅郎 教授 庄盛 敏廉

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

上丘と小脳虫部第Ⅸ小葉に投射する三叉神経知覚核群ニューロンについて、WGA-HRP による逆行性標識法を用いてラットで検索した。一側上丘への WGA-HRP 注入により、注入とは反対側の三叉神経主知覚核 (5SNPR) と同脊髓路核 (5SP) の小形および中等大ニューロンが標識された。標識ニューロンは、5SP の中間亜核 (5SPip) と吻側亜核 (5SPo) の境界付近および 5SPo 前方部に多く分布していたが、尾側亜核 (5SPc) にはごく少量しか見られなかった。一方、小脳虫部第Ⅸ小葉注入例でも、5SP と 5SNPR に HRP 陽性ニューロンがみられた。標識ニューロンは 5SPip と 5SPo 尾部で特に目立ったが、5SPc には認められなかった。5SNPR では、上丘注入例に比べると標識ニューロン数は、はるかに少なかった。

励起波長の異なる二種の蛍光色素を同一個体の上丘と小脳虫部第Ⅸ小葉に注入したところ、5SP には二重標識ニューロンは認められなかったが、5SNPR 腹側部には二重標識され、軸索側枝により上丘と小脳虫部第Ⅸ小葉皮質を同時に支配するニューロンが少数ながら存在することが判明した。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は逆行性標識法により、ラット上丘と小脳虫部第Ⅸ小葉に投射する三叉神経知覚核群ニューロンについて検索したものであるが、標識されたニューロンの詳細な分布や、上丘と小脳虫部を同時に支配するニューロンの存在を明らかにするなど重要な知見を得た

ものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。